



PTA進路学習会



7月14日(金) 進路指導部の御協力を得て、PTA進路学習会を開催し、小学部5名、中学部8名、高等部16名、卒業生7名、計36名の保護者が参加しました。

「卒業後の生活と利用できるサービスについて」をテーマに、講師として、八幡市障がい者生活支援センター803〔はちまんさん〕の相談員 近岡様、磯田様をお招きしました。

講演に先立ち、中学部以下のお子さんをお持ちの方には、イメージがわきにくい卒業後に関して、進路指導部の杉山先生より「高等部卒業後の進路について」ご説明いただきました。参加者の認識を深めるために、卒業生の進路先である企業就労・福祉就労・職業能力開発校について、わかりやすいお話があり、近岡様の講演へ繋げていただきました。

講演は、まず施設入所支援や共同生活援助（グループホーム）といった居住系福祉サービスの種類と内容から始まり、その中でも特にグループホームについて、部屋の種類のことから、福祉サービスのこと、金銭面のことなどについて、御説明くださいました。入居まで3年かかったという実際に対応された事例はわかりやすく、いまから準備する上での参考になりました。

大事なものは、相談支援事業所とのつながりをもつこと、金銭面を備えること、そして最新の情報を集めることも意識しておきたいと感じました。

参加者のみなさんは熱心にメモをとっておられ、気になる卒業後に関する興味深い内容で、有意義な時間を過ごせました。

最後になりましたが、講演してくださった近岡様、磯田様、進路指導部の杉山先生をはじめ、今回のPTA進路学習会に御協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。



進路指導部 杉山先生



講師 近岡様



講演後のアンケートでは、多くの御意見や御感想をありがとうございました。
御記入くださった質問に対して、講師の近岡様から丁寧な回答をいただきましたので、
こちらに掲載いたします。



Q 京都府内には入所施設の数はいくらあるのか？

A 46施設（障害児入所施設含む）各圏域 1 施設以上ありました。

京都市：17施設

丹後：2 施設

中丹：8 施設（内、（福）福知山学園 4 施設）

南丹：8 施設

乙訓：1 施設

山城北：9 施設（内、（福）南山城学園 6 施設・（福）青谷学園 2 施設）

山城南：1 施設



Q 日中活動が必要なグループホーム入居中に、風邪などの体調不良になった時はどうなる？

A コロナ禍が少し緩和された現時点では、風邪や下痢程度の体調不良であれば、グループホーム内での対応は可能かと思われます。

支援員・世話人の関係で、一時帰宅または入院になる可能性も考えられます。

Q 高齢になった時、途中で居住場所（グループホームから老人ホームなど）を変えないといけないのか？

A 身体障がい者の場合、65歳未満の者となっています。

原則、知的・精神障がい者に対しての年齢制限はないと思われますが、事業所の方針により、同じ法人内や別の居住場所へ移行を促されることがあるかもしれません。

Q グループホームのワンルームタイプは都会に多いとのことだったが、八幡市や京田辺市にはあるのか？

A 情報や検索では、八幡市や京田辺市ではワンルームタイプは無いようです。

感覚的には、都市部を外れた地方になると、土地の安さや広さが確保しやすくなるのか、共同住宅タイプのグループホームが多くある傾向に感じます。

Q 働いている(通所している)場所を基準に住むところを探すと、数が少なくなるとのことでしたが、逆に住むところを基準にして働く(通所)場所を探するときや、転職を考えたときにはサポートしてもらえるのか？

A 関わりのある相談支援事業所はもちろん、他都道府県に行く場合でも殆どの場合、相談支援事業所の紹介や引継ぎをしてくれるので安心してください。

また、入居をするグループホームでも転職や通所先の紹介も行ってくれるかと思います。

**Q 現在、高等部3年だが、今から各市町にある相談支援事業所へ相談をしておいたほうがいいのか？
それとも卒業後からの方が良いのか？**

- A 進路相談時にでも、将来的な相談をしてもらっても大丈夫だと思います。
支援センター 803 では、具体的な内容が決まっていなくても、随時一般相談の対応も行っています
が、他の市町の相談支援事業所では、対応が難しくなることもあるかもしれません。
また八幡市に限りますが、相談支援事業を3拠点で実施しているので、他事業所との情報共有や連携が
できるようになっています。
相談員や事業所との相性もありますので、一つに絞らず、気長にみつけてみるのもいいかと思います。
まずは、各市町にある相談支援事業所へ事前連絡をしてみてください。

**Q 全国的にグループホームを希望している人や待機が多いとなると、グループホームを増やしていく動き
はあるのか？**

- A 平成20年からの15年で利用者数（48,000人→132,000人）は約2.7倍増加しているため、新規グルー
プホームも増えてきていますが、需要と供給では、まだまだ追いついていないのが現状だと感じます。
平成30年から始まった日中サービス支援型のグループホーム数が増えてくると、利用する側の選択肢
（日中活動or日中支援）も増えてきて、少しずつバランス良くなっていくかもしれません。
数年おきに見直しされる改定時に、日中サービス支援型が新設された様に、今後も何かしらの動きはあ
るかもしれません。

Q グループホームへの初期費用や月額費用が知りたい。

- A 基本的には敷金礼金、保証金などは不要なところが多いです。入居時に求めている事業所で、10万円前
後が相場だと思います。
月額費用に関しましては、家賃・食費・光熱費・その他（共益費、日用品費、雑費）などの合計で4万
円～10万円前後のところが多い様に感じます。
※別途、前年度の所得状況により、障害福祉サービスの利用者負担上限月額が発生する場合があります。
20歳を超えますと、施設入所及びグループホームの場合、0円または37,200円のどちらかに決定され
ます。

【内訳例】

家賃：20,000円～45,000円（特定障害者特別給付金（上限10,000円）が給付された場合、－10,000円
になります。）
食費：15,000円～40,000円（自炊の場合、実費負担）
光熱費：10,000円～20,000円（ワンルーム、サテライトタイプは実費負担）
日用品費：0円～20,000円

